栄川中学校区子ども育成支援協議会　各戸１枚配布

栄川学園だより

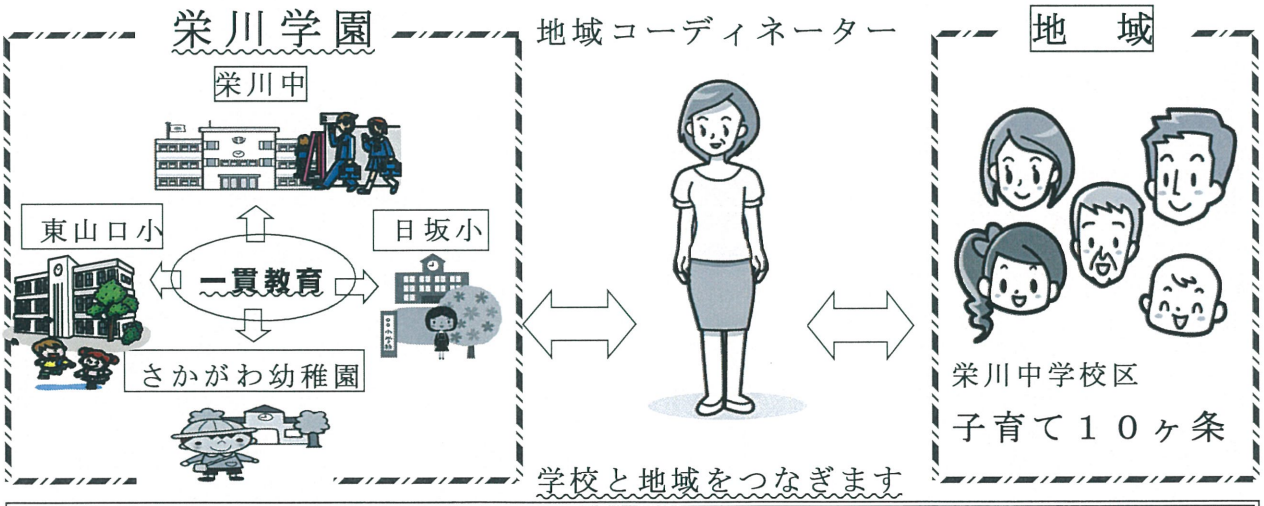
平成２６．８月

Ｑ１　栄川学園って何ですか？

平成２５年度から、掛川市では学園化の取組が始まりました。学園化とは、中学校区を一つの学園と見なして、それぞれの学校・幼稚園そして地域が協力・連帯して、地域ぐるみで子どもを育てようとする取組です。栄川中学校区では、さかがわ幼稚園・日坂小学校・東山口小学校・栄川中学校の４校をまとめて「栄川学園」といいます。

＜ 2013.6.6 発足会より ＞

また、栄川中学校区では、これまで行われてきた青少年健全育成事業と幼稚園、小学校、中学校で行われてきた一貫教育を統合し、平成２５年６月６日に子ども育成支援協議会が発足しました。子ども育成支援協議会は、この学園化を推進する母体としての役割を果たしています。現在、栄川学園には地域コーディネーターが１名配置され、地域と学園を結んでいます。



Ｑ２　子ども育成支援協議会は、どんなメンバーになっていますか？

会長：杉山光夫（東山地区区長会長）　副会長：袴田重由（日坂地区区長会長）

副会長：榛葉孝一（東山口地区区長会長）

監事：山城治雄（東山地区センター長）、川上利雄（東山口地区センター長）

地域コーディネーター：田中由紀江

委員：民生児童委員代表、各地区社会福祉協議会代表、各地区センター長・事務長
広報部長、育成部長、学習部長、学校評議員代表、社会教育委員
各幼小中園長・校長・教頭、ＰＴＡ会長　　総勢３０名のメンバーで構成されています。

裏面も見てね！

Ｑ３　地域コーディネーターってどんな役割をしているのですか？

地域コーディネーターは、学校で行われている授業の中に、地域の方々の力をお借りして、より授業を充実させていく役目を果たしています。つまり、これまで学校と地域で別々に行われる傾向が強かった子どもの教育をつなげていく役割をしています。特に、ボランティアの募集や派遣を行っていきます。事務局は栄川中学校職員室内にあります。定期的に幼稚園、各小学校、中学校また、ボランティアの方々の家などを回ります。

Ｑ４　目標やスローガンはありますか？

右のようなのぼり旗をご覧になったことがある方も多いのではないでしょうか。各学校や各地区の公民館や公会堂などに設置させていただきました。

栄川学園では、学校と地域が一緒になって、「じっくり考え、表現できる子」を育てることを目標に子育てに取り組んでいます。

＜栄川学園のぼり旗＞

平成２５年度の活動を紹介します。

さかがわ幼稚園

- もちつき大会の支援
- コマ廻しの支援

東山口小学校

- 昔の遊びの指導（老人クラブとの交流）
- 昔の人のくらしの紹介
- 戦争体験のお話
- しめ縄づくりの支援
- 輪投げ交流（老人クラブとの交流）

日坂小学校

- ミシン縫いの支援
- わらじ作りの指導
- 八幡様の歴史のお話

栄川中学校

- 「ようこそ先輩」講演
- 地震の歴史講話
- 地域の偉人に学ぶ講話
- 地震対策講話

＜さか幼「もちつき大会」＞

＜栄川中「先輩に学ぶ」講演会＞

＜さか幼「コマ廻し」＞

＜日坂小「わらじ作り」＞

＜東山口小「しめ縄づくり」＞

＜東山口小「昔の人のくらし」＞

＜栄川中「地震の歴史」講話＞